

学校概要

創立	3周年	学校長	小佐野 和人	副校長	池田 ゆかり	学期	3 学期制	児童・生徒数	483人
学級数 一般級: 14 個別支援級: 2					主な関係校: 上郷小学校 庄戸小学校				

学校教育目標

自ら学び、確かな学力をつけよう (知)  
 互いに支え合い、思いやりを持とう (徳)  
 健やかな心と体を育もう (体)  
 広い視野を持ち、社会の一員として行動しよう (公)(開)

学校の特徴

- 自然に囲まれた静かな住宅街の中に位置し、良好な教育環境にある。
- 平成27年4月1日に庄戸中と上郷中が統合して、新たな上郷中として開校した学校である。
- 生徒の学習意欲を高め、分かる授業の更なる実践が必要である。
- 生徒のコミュニケーション能力を高め、適切に自己表現ができる生徒の育成が必要である。

学校経営中期取組目標

- \* 「わかる」「できる」「楽しい」授業づくりを推進し、学力の向上を図ります。
- \* 生徒一人ひとりを徹底的に大切する、きめ細やかな指導を継続し、学校が生き生きと過ごせる場となるようにします。
- \* 家庭・地域・小中一貫教育推進ブロックとの絆を深め、共に学び、共に育つ学校づくりを推進します。
- \* 生徒と職員・保護者と職員・地域と職員そして職員同士の信頼関係を深め、活気ある学校づくりを推進します。
- \* 統合により学区が広がり、関わる地域も広がったが、引き続き地域に根差した愛される学校を目指します。

小中一貫教育の取組

a5 ブロック : 上郷中学校 上郷小学校 庄戸小学校

9年間で育てる子ども像	明るく健康的で礼儀正しさや他を思いやる心を持つ子ども。 地域との関わりの中で、いろいろなことを積極的に学ぶ姿勢を持つ子ども。
自校の具体的取組	小中学校間で学習指導や生活指導の円滑な接続を大切にする。 小中一貫した学校スタンダードを作成し、これをもとに9年間で子どもを育む体制を確立する。 小中合同授業研究会を実施し、お互いの良さを検証しながら授業力の向上を図る。 地域の行事に合同参加し、地域を巻き込みながら、活動をさらに盛り上げる。 あいさつ運動を通して児童生徒の交流を推進する。

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	「わかる」「できる」「楽しい」を意識し、基礎・基本の確実な定着を図る。 言語活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力を高める。	①校内研修・研究を行い、指導方法や授業改善等、授業力向上を図ります。②視聴覚教材等を活用し、「分かる」授業を追究していきます。③チームティーチングにおける指導内容等の情報共有を的確に行い、個に応じた授業実践を行います。④まとめる、発表する等、自己表現力を高め、コミュニケーション能力の向上を図ります。
豊かな心	すべての教育活動を通して、自他の人権を尊重し、集団の中で自らの存在を自己確認できる生徒を育成する。	①肯定的な自己認識を育む、日常的な「いのちの教育」の実践を図ります。②いじめ根絶に向けた定期的なチェック体制づくりと教育相談のより一層の充実を図ります。③人権作文や福祉活動等、体験を通じた人権意識の啓発を図ります。④あいさつ運動や、道徳や学活等、あらゆる場面を通じて集団生活における規範意識の向上を図ります。
健やかな体	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と実践を通して、運動に親しむ資質や能力を育てる。	①新体力テストの結果を活用し、生徒一人ひとりが自己の状況を把握し、課題克服に向けた取り組みができるようにします。②体育祭の活動を通じ、仲間と協力して努力する態度を育てるとともに、心の成長を図ります。③学校保健委員会等の活用による健康で安全な生活や規則正しい食生活を通じた健やかな心と体の育成に努めます。
特別支援教育	特別に支援を必要とする生徒一人ひとりについて把握し、職員の共通理解を図り、指導に生かす。	①特別支援コーディネーターを軸としたケース会議を定期的に開催し、生徒状況の把握・共有を行い、生徒理解を深めます。②スクールカウンセラー、区子ども家庭支援課、児童相談所等との連携を図り、個に応じた課題解決を図ります。③日常的な教育相談を実践し、支援の充実を図ります。
生徒指導	相談活動を充実させて、信頼関係づくりに努め、生徒理解に努めるとともに、一人ひとりの課題を把握し、指導に生かす。	①日常的な教育相談を行い、生徒の状況を的確に把握し、個に応じた指導を行います。②体罰の根絶による毅然とした指導と、心情に寄り添った指導を行います。③生徒を「認める」「褒める」場面を積極的に作り、自尊感情を高めます。④保護者や地域関係諸機関と連携し、多面的に生徒の状況を把握します。
地域連携	地域行事への生徒の参加を推奨し、地域の一員としての意識を高める。 学校の活動や取組の様子が伝わるように発信の仕方を工夫する。	①小中の授業交流、体験交流、生徒・教職員・PTA・地域との交流の機会を多くし、地域の一員としての自覚を高めます。②学校情報を、学校便りやホームページを活用し、積極的に発信します。③地域と協働した学校づくりを推進し、学校力を高めます。
キャリア教育	横浜マイスター体験や職業体験を実施し勤労観や職業観を育てる。 自らが主体的に選択する進路のための適切な資料を提供する。	①1年生では匠の技に触れる機会を設け、2年生では職業体験を実施するとともに、体験場所の充実を図り、3年生では、保護者(家庭)の意向も尊重しつつ、生徒が主体的に進路選択に臨めるよう、進路選択のための情報を積極的に発信します。②高校見学やライフプランニング、講話なども積極的に取り入れ、意識の向上を図ります。
いじめへの対応	全ての職員が、『いじめを絶対に許さない』という意識を持ち、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に組織的に取り組む。	①毎朝の主任会やいじめ防止対策委員会の機能を充実させ、いじめの未然防止・早期発見に努めます。②定期的なアンケートや教育相談を通じて、生徒の実態把握といじめの未然防止・早期発見・解決に努めます。③誰もが安心して参加でき、自尊感情を高める授業づくり・集団づくりを推進していきます。
人材育成・組織運営	風通しの良い職員集団を形成し、若手職員に中堅・ベテランが関わりながら、教職員が積極的に学校運営に参画する体制を確立する。	①今日的課題に対して、計画的な研修を実施し、教師力向上に努めるとともに、若手職員の学習指導・生活指導力を高めます。②職員相互の授業見学を推進し、見られやすい・見たい雰囲気づくりに努め、教師力向上を図ります。③組織力強化とミドルリーダー育成を目指し、学年連絡会の充実に努めます。